

キャラクター名
花詩 悠華 (はなうた ゆうが)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ウロボロス		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	17	性別	男
覚醒	忘却	衝動	自傷	初期侵食率	38	%
出自	天涯孤独	経験	秘密	邂逅	兄貴分	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	35
肉体	3	1	0	2		6	行動値	5
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	5
精神	3	0	0			3	戦闘移動	10
社会	1	0	0			1	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	11		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
赤熱の一撫	白兵	6r+11		10		《コソトイトLv2》+《炎の刃Lv3》+《原初の赤:獣の力Lv2》
蒼熱の一振	白兵	9r+11		14		《コソトイトLv3》+《炎の刃Lv4》+《原初の赤:獣の力Lv3》

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:無疵なる石P		N		
"夢想の否定者"	P 信頼	N 恐怖		
朝日野 新	P 連帯感	N 隔意		
島並 清廉	P 誠意	N 不安		
夏野 美環	P 好意	N 不安		
向日葵 ひかげ	P 好意	N 悔悟		
谷川	P 誠意	N 悔悟		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コソトイト	2	2	Xジャー					
効果:	C-Lv							
氷の回廊	1	1	マイナー					
効果:	飛行移動を行う。「距離+Lv x 2」							
白熱	9	3	マイナー					
効果:	素手変更 攻撃Lv+5 G:4							
原初の赤:獣の力	5	3	Xジャー			白兵		
効果:	攻撃+Lv x 2							
炎の刃	5	2	Xジャー			白兵・射撃		
効果:	攻撃+Lv x 2							
原初の黄:戦術	5	6	セットアップ		選択			
効果:	ダイス+Lv							
炎神の怒り	3	3	Xジャー			肉体		
効果:	ダイス+Lv+1 HP-3							
クロスバースト	3	4	Xジャー					
効果:	ダイス-2、攻撃Lv x 4							
氷熱の軍団	5	10	インシアブ		選択			
効果:	対象の攻撃力+Lv x 4							
バーニングハート	5	2	オート					
効果:	ダメージを受けたとき発動。暴走。攻撃+Lv x 2							
レックレスフォース	3		常時					
効果:	暴走時、エフェクトダイス+2							
フレイムタン	5	2	Xジャー					
効果:	射程を視界にする・攻撃力- (5-Lv)							
灼熱の砦	3	3	Xジャー					
効果:	攻撃+Lv x 3。移動を行った場合使用不可							

「女の子は笑っているのが一番だ。それが俺の隣であれば、もっといい」「師曰く、"事件とは絡み合った"意図"であり、それを解けば、何者かの"意図"もおのずと見えてくる"。洒落のつもりだったのかね」「戦いは兄貴仕込みだぜ。まあ、少々"情熱的"だけだな」「さて、可愛いお嬢さん、俺のハーレムに加わらないかい?」

10年前、目が覚めたとき、自分がだれで、ここはどこで、そんなこともわからない赤ん坊だった。今までたどったはずの7年がはっきりと空いたまま、俺は一人のエージェントに引き取られる。そのエージェントはUGNでも屈指の実力者であり、事件の影で暗躍していたという"悪"と呼ばれたオーヴァードすら捕縛へと導いたという。彼の元で、自身の記憶を探りつつ、助手のようなものをこなしていた。しかし、4年前、その生活も唐突に終わる。師であるそのエージェントは根みを買うことも多かったのだろう。ある日、意識不明の状態でもUGN管轄の病院へと運ばれた。天涯孤独になるはず……だった。まるで、このことすら予測していたかのように、次々と状況が一変し、一月もたたないうちにとあるUGNへと身を移すことになった。UGN支部長 朝日野 新。後にこっぴどく戦闘訓練やUGNエージェントとしての在り方を教えた兄貴分のような存在だ。彼の保護下の元、今までと変わらず、何不自由のない生活を送っていた。

そして、3か月前。戦力として一人前と判断された俺は小賀坂という男のまとめるUGN支部へと転属する。この男、どこかで見たことがある気がするが、全く記憶にない。

ここまでの経歴で女の子が大好きな理由がないって?

